

2004年4月15日

株式会社森精機製作所

中国に金型加工研究所を正式オープン

株式会社森精機製作所(本社:奈良県大和郡山市、社長:森雅彦、以下森精機)は、中国の現地法人 上海森精機机床有限公司の出先機関として、広東省東莞(トンガン)市に金型加工研究所を設立し、4月13、14日、現地でオープンハウスを行いましたので、以下のとおりお知らせします。

(現地概要)

名称: 森精機東莞模具研究所
所在地: 本社:中国 広東省東莞市内(300 m²)
事業内容: 森精機製品のお客様との金型加工に関する最新情報の交換および加工技術に関するサポート
販売地域: 中国全域および台湾
従業員数: 4名(日本人1名、現地社員3名)
現地技術者: 萩野重一
技術サポート開始日: 2004年4月

同研究所は、当社伊賀工場内の金型加工研究所、米国ダラス、ドイツシュツットガルト、シンガポールテクニカルセンタ内に設置された各研究所と同様に、中国における技術サポート拠点として設立しました。特に広東省では、4,000件以上もの金型加工に従事する企業が密集しており、東莞市はその中心都市。より地域に密着したサポートということで、最新加工情報の交換や加工技術に関するサポートなどを行う予定。

当社は、同地区での工作機械の大半は金型関連のお客様で、1昨年前に発売した金型加工に最適なマシニングセンタNVシリーズが爆発的に売れており、東莞を中心とする華南地区では、高精度志向の地元企業を中心として、お客様が拡大している。

同研究所は、当社のお客様である Altrust 社(従業員約1,600名、工作機械約250台、CAD/CAM約120台)という金型メーカーの工場敷地内に設置されており、ニーズの追求は勿論、各業界の動向も敏感に感知できる環境下に設置されています。

同研究所には、常時テスト加工ができるように、高精度な金型加工用マシニングセンタを中心にテスト加工用機3台に、各種CAD/CAMも自由に操作が可能で、最新工具展示や50人規模の各種セミナーが行えるセミナールームも常設しています。

当社は中国各地にテクニカルセンタを設置しており、北京、天津、大連、上海、香港、シンセン、重慶に加え、この東莞で、8箇所になります。また、西安にも拠点を検討しており、日系の工作機械メーカーでは、一番のきめ細かなサービスを提供できる体制が整っているといえます。今回の金型加工研究所の設立をもとに、さらに深く技術的なつながりを通して、お客様と積極的なコミュニケーションを高めていく考えです。

以上